

2025年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会 兼 第22回JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会 IN 北海道 開催要項

2025年3月13日赤字修正

- 1 主 旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める。
- 2 名 称 2025年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会
兼 第22回JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会 IN 北海道
- 3 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、日刊スポーツホールディングス
- 4 主 管 苫小牧地区サッカー協会
- 5 後 援 公益財団法人日本サッカー協会
- 6 特別協賛 全国農業協同組合連合会(JA全農)
- 7 協 賛 ホクレン農業協同組合連合会
- 8 期 日 2025年4月10日(木)
18:30～ 開会式・監督会議(オンライン開催)
2025年4月12日(土)
9:00～ 1回戦・2回戦
2025年4月13日(日)
9:30～ 準決勝・決勝 12:45 閉会式
- 9 会 場 TOMASEI フットボールフィールド(人工芝)
(苫小牧市清水町3丁目3-26) TEL 0144-36-1181
- 10 参加資格 (1) 参加チームは2025年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること。ただし、2024年度(令和6年度)に実施した本大会の地区予選をU-11(小学校5年生以下)の選手で勝ち抜き、別に定める地区割り当てにより所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
(2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。(前年度登録チームが今年度登録チームと違っている選手も参加は可能。)ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
* 上記「加盟チーム」とは、12歳未満の選手により構成されるチームである。ただし、小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない。
(3) 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。
(4) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、ベンチ入りするチーム指導者全員がJFA公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。ベンチには必ず複数の指導者が入ることとする。
(5) 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
(6) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。
- 11 参加チーム 各地区協会より参加できるチーム数は次の通りとする。計16チーム。
札幌2 函館1 旭川1 釧路1 根室1 小樽1 空知1 北空知1 十勝1 千歳1 オホーツク1 室蘭1 苫小牧1 (道北/宗谷)1 ※道北と宗谷でプレーオフ
開催地(苫小牧)1
- 12 競技規則 (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
但し、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める。
- 13 大会形式 16チームによるトーナメント戦とする。
- 14 競技方法 (1) プレーの時間:36分(12分-12分-5分-12分 3ピリオド)
(2) インターバル(ピリオド間) : 第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は、5分とする。

- (3) エンドの決定
○第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し約半分が経過したタイミングでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフとする。
- (4) 試合の勝者を決定する方法
○規定の時間内に勝敗が決しない場合は、3人ずつのPK方式で勝者となる チームを決定する。試合終了時に出場している選手で行う。
○準決勝と決勝では6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合は 試合終了時に出場している3選手によるPK方式で勝者を決定する。延長戦に入る前のインターバル:5分、PK方式に入る前のインターバル:1分
- (5) ○大会登録選手は、16名以上20名以下とする。各試合において、登録(ベンチ入り)選手が、必ずしも全員出場する必要はないものとする。
○競技者の数は、常に8人(うち1人はGK)とする。
○第1ピリオドのスターティングでの出場予定の8人、第1ピリオドの交代要員、第2ピリオドのスターティングでの出場予定の8人、第2ピリオドの交代要員を本部へ提出する。
○交代要員含め同一選手の出場は最大で2つピリオドまでとし、3つピリオド全てに出場することはできない。大会期間中に、事故・けが等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になったときに限り、大会本部で承諾の後、1試合で3つのピリオドに出場することを認める。(延長戦はピリオドの数に含まない)
- ①第1ピリオド
○予め決められた、第1ピリオドのスターティングでの出場予定選手が出場する。
○試合中の事故・けがで交代する場合および体力的な交代、出場機会を与えるための交代の場合は、登録された第1ピリオドの交代要員が出場する。
○登録した第1ピリオドの交代要員全員が全て出場してしまった後に、事故・けが等のアクシデントで交代選手が必要となった場合に限り、第2ピリオドの交代要員が出場できる。
○第2ピリオドの交代要員全員が出場してしまった後に、事故・けが等のアクシデントで交代選手が必要となった場合に限り、大会本部が認めることを条件に登録された第2ピリオドのスターティングの出場予定選手が出場できる。ただし、その選手は、予定通り第2ピリオドのスターティングメンバーとして出場する。また、2つのピリオドに出場することになるので、第3ピリオドには出場できなくなる。
○交代して退いた選手は、第1ピリオドには再び出場できない。(=自由な交代ではない)
- ②第2ピリオド
○予め決められた、第2ピリオドのスターティングでの出場予定選手が出場する。
○試合中の事故・けがで交代する場合および体力的な交代、出場機会を与えるための交代の場合は、登録された第2ピリオドの交代要員が出場する。
○登録した第2ピリオドの交代要員全員が全て出場してしまった後に、事故・けが等のアクシデントで交代選手が必要となった場合は、第1ピリオドに出場していない第1ピリオドの交代要員が出場できる。
○第1ピリオドに出場していない第1ピリオドの交代要員も全員が出場してしまった後に、事故・けが等のアクシデントで交代選手が必要となった場合に限り、大会本部が認めることを条件に、①「第1ピリオドで出場した交代要員」、②「第1ピリオドのスターティングでの出場選手」の順で出場できる。ただし、その選手は、2つのピリオドに出場することになるので、第3ピリオドには出場できなくなる。
○交代して退いた選手は、第2ピリオドには再び出場できない。
(=自由な交代ではない)
- ③第3ピリオド
○第1・第2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員含め誰でも出場できる。
○何回および何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。
(=自由な交代)

④延長戦

- 交代要員含め誰でも出場できる。
- 何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。
(=自由な交代)

*常に8人で試合を行うことを最優先とする。そのため、ゲーム中および大会期間中にけがや病気で人数が足りない状況が生まれた場合のみ、1人の選手が3ピリオド全てに出場しないことで対応をしていく。(必ず大会本部に確認をし、承認を受けることとする。)

(6) 交代の手續

- 交代して退く選手は、交代ゾーンからフィールドの外にでる。
- 交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る。
- 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。ただし、交代で退く選手が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
- ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。

(7) テクニカルエリア:設置しない。

(8) ベンチに入ることができる人数

最大:選手12名・指導者4名(全員が有資格者であること)

(9) 主審、副審(2人)、第4の審判員の4名で運営する。

(10) アディショナルタイムの表示:実施しない。

(11) ファウルと不正行為:

- 警告・退場:通常の競技規則に準ずる。
- 退場:当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。
- 大会期間中、警告を2回受けた選手等は、次の1試合に出場できない。
- 本大会において退場を命じられた選手等は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会で決定する。

(12) 飲水タイム:採用しない。

(13) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数:2名以内

(14) 各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。選手証とは、本大会では、(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

(15) 競技場:人工芝のグラウンドを使用する。

(16) ピッチサイズ:縦68m×横50mの大きさを使用する。

- ペナルティエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、
その地点からゴールラインに直角12m
- ゴールエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、
その地点からゴールラインに直角4m
- センターサークル:半径7m
- ペナルティマーク:8m
- ペナルティアーク:半径7mの半円弧
- フリーキック時の壁との距離:7m

(17) ゴール:ゴールの内のり 縦2.15m 横5m

(18) ボール:4号球

(19) コーナーキック:ボールがインプレーになるまで相手競技者は、コーナーアークから7m以上離れる。

- (20) グリーンカードの導入
- 15 ユニフォーム
- (1) (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、(2)以下については、一部本大会の緩和規定として採用する。
 - (2) 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ・ショーツおよびソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。(正・副の2色については、明確に異なる色とする。
*なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。
 - (3) 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は、登録された2組のユニフォームのうちからシャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)
 - (4) ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレイヤーとなる場合(その逆の場合も)については、登録された選手番号のついたシャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手との判別がつくのであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。
 - (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
 - (6) アンダーシャツ・タイツの色は問わないが、チーム内で同色のものを着用する。
 - (7) 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
 - (8) フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。
アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。
- 16 懲 罰
- (1) 本大会の予選は懲罰規定上の同一当該競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
 - (2) 本大会の予選で受けた警告については、累積として本大会には、持ち越さないものとする
 - (3) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため大会規律委員会を設置する。
 - (4) 大会規律委員会の委員長は(公財)北海道サッカー協会第4種委員長とする。(公財)北海道サッカー協会第4種委員長不在の場合は、(公財)北海道サッカー協会第4種委員、または主管地区協会第4種委員長を(公財)北海道サッカー協会第4種委員長が代理として指名することができる。委員については、原則、主管地区協会第4種委員長・主管地区協会審判委員長とする。(主管地区協会第4種委員長が大会規律委員長代理となった場合は、主管地区協会第4種委員より大会規律委員を1名追加指名することができる。)
 - (5) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会において決定する。
 - (6) 競技者が退場を命じられた場合は、当該チームは、交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーすることとする。主審は、競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
 - (7) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。ただし、この規定は本大会のみの適用とする。
 - (8) 本大会諸規定及び本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会において決定する。
- 17 参 加 料 24, 200円(税込)
- 18 参加申込
- (1) 参加チームは所定の用紙をEメールで所属地区協会事務局まで送付すること。(地区サッカー協会経由で(公財)北海道サッカー協会に送付)
 - 参加申込書
 - ※参加申込書には選手16名以上20名まで、指導者4名までの氏名を記入すること。
 - プライバシーポリシー同意書
 - 地区予選結果(フォーマットは、各地区協会使用のものでかまわない)

(2) 親権者同意書は捺印の上、(公財)北海道サッカー協会宛に郵送すること。

※提出期限はすべて2025年3月20日(木祝)17時必着とする

【申込先A】(公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター内

TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101

【申込先B】苫小牧地区サッカー協会

〒053-0022 苫小牧市表町3-1-12 第2CKビル4F

苫小牧地区サッカー協会

TEL 0144-82-9561 FAX 0144-82-9562

Eメール tomakomai-fa@sunny.ocn.ne.jp

【参加料納入口座】

銀行名 苫小牧信用金庫 市役所出張所

口座名 苫小牧地区サッカー協会 会長 戸村 真規

口座名カナ トモマイチクサッカーキョウカイ カイチョウ トムラ マサキ

口座番号 普通 1002886

- 19 組合せ 2025年3月21日(金) (公財)北海道サッカー協会において行う。
※組合せは(公財)北海道サッカー協会HPの「大会情報・4種」で確認すること。
なお、HP掲載は、3月24日(月)以降とする。
- 20 帯同審判 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会公認審判員(3級以上)を**2名**必ず帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。出場チームで準備ができない場合は、所属地区協会と相談し用意すること。
(2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。ベンチ入り指導者が審判員を兼ねる場合は審判を優先しなければならない。また、監督は帯同審判を兼ねることはできない。
- 21 審判員配置 全ての試合において配置する。(大会事務局より依頼があった場合は、各地区協会から派遣することに協力するものとする。)
- 22 選手証 出場チームは、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。ただし、写真添付により、顔の認識できるものであること。
※選手証とは WEB 登録システム(KICKOFF)から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- 23 選手変更 選手変更・追加登録は、所属の地区を通じEメールにて(公財)北海道サッカー協会および主管協会に届出のこと。提出期限はすべて2025年3月25日(火)17時必着とする。
- 24 監督会議 2025年4月10日(木)19時00分よりオンラインで行う。監督は必ず出席のこと。
欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。詳細については、主管地区協会より連絡を行う。
- 25 開会式 2025年4月10日(木)18時30分より
※オンライン開催
※各チーム代表選手1名が出席する。(なお、機器操作のために、保護者または、チームの指導者などの成人が必ずサポートを行うようにする。)
選手・監督(チーム指導者代表)は、全チーム参加することとする。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。
- 26 閉会式 2025年4月13日(日) 決勝戦終了後、試合会場で行う。準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。
- 27 その他 (1) 優勝 賞状・メダル・副賞 準優勝 賞状・メダル 3位 賞状・メダル
(2) 選手資格に関し、その他不都合な行為があった場合そのチームの出場を停止する。
(3) 宿泊等の斡旋は特に行わない。
(4) 優勝チームは2025年5月3日(土)~5日(月・祝)に横浜で開催される予定の全国決勝大会(JA全農杯全国小学生選抜サッカー2025)への参加を義務付ける。
* なお、全国大会の登録は、原則として引率指導者2名以上3名以下、選手16名以上18名以

下となり、北海道大会とは違っているので、留意。

* 参加20名分(引率指導者2名・選手18名)を最大として、大会事務局で旅費・宿泊費の補助がある。

なお、優勝チームが何らかの事由で出場を辞退した場合、準優勝チームが繰り上がって参加することができる。

(5) 本事業にあたっては、以下通知の通りとする。

『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後のHKFA主催事業について(通知)』

<https://www.hfa-dream.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/HKFACOV19Category5Update.pdf>

(6) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。

(7) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長等で構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

以上